

山口徳地イングリッシュキャンプ ～大自然の中、英語で楽しくふれあおう～

令和2年12月5日(土)～6日(日)

【目的】

自然体験活動を通して自然に親しむ態度や豊かな情操を育む目的に加え、言語や文化の異なる外国人と一緒に活動や生活をする中で、積極的に英語でのコミュニケーションを取る態度を育成することともに、異文化に触れることで豊かな国際感覚を持ち、幅広い視野で行動できる資質・能力を養う。

【参加者】

29名（男子14名、女子15名／4年生9名、5年生10名、6年生10名）

【プログラムの内容】

1日目	2日目
10:30 はじまりの会・アイスブレイク	9:00 英語でピザを作ろう
13:15 英語でオリエンテーリングをしよう	13:30 オリジナルキーホルダーを作ろう
18:30 英語で歌おう、遊ぼう	15:00 おわりの会・解散

はじまりの会・アイスブレイク



英語に慣れ親しんでもらうために外国人講師を招いて事業を実施した。参加者はとても緊張した様子であったが、アイスブレイクを通して、次第に参加者の表情が笑顔に変わっていった。

また5グループに分かれ、グループごとに外国人講師1人が入り、グループ名を決定した。

英語でオリエンテーリングをしよう



オリエンテーリングでは、翌日に作るピザにのせるトッピング材料のカードを競って探し出した。オリエンテーリングポストに6種類の材料カードやそのカードの場所がわかるヒントカードを設置されており、各グループでコースマップを見ながら、順路や好みの材料の選択を作戦会議で話し合い、出発した。制限時間内でグループごとに獲得できた材料カードに相違はあったが、冬の森を感じながら活動することができた。

また、コースを散策する中では、外国人講師から目に映る植物・生物の英語単語や時間確認時の英会話表現の指導を受けながら、楽しんでいる様子が見られた。

英語で歌おう、遊ぼう



新型コロナウイルス感染防止のため当初の予定を一部変更し、外国人講師が外国のクリスマスの様子や過ごし方の講演を行った。参加者からは活発な質疑応答があり、外国の文化に触れあう良い機会となった。

その後、グループ対抗で脱出ゲームを行い、目隠しをした仲間を周りの仲間達が英語のみでの会話で助けながらクリアをするもので、積極的に英語に挑戦する様子が見られた。

英語でピザを作ろう



各グループにおいて、オリエンテーリングで集めたトッピング材料カードの中から3種類を選び、オリジナルのピザを作った。

また、ピザ生地の材料を入れたペットボトルを楽しく振って、各自のピザ生地を作った。

材料を切り、盛り付け、ピザを食べるという工程の中で、それぞれの活動の中で、英単語や英会話を織り交ぜて楽しく活動を行えた。

オリジナルキーホルダーを作ろう



2日間の活動を通しての思い出を絵や文字で木のキーホルダーに表現し、グループごとに英語で発表をした。発表では、外国人講師から助言いただき、自分の言葉として自己紹介やキーホルダーの内容を仲間に伝えることができた。

【参加者の声】

「英語とたくさんふれあうことができたので良かった」「少しでも話したり、書いてみてりしようと思う」「外国人と交流できてとても楽しかった」など前向きな意見がたくさんあり、また「I am happy!」「Good!」など英語で表現された内容もたくさん見受けられた。

【成果】

アンケートの結果、参加者の82%から英語に興味を持つことができたという回答をいただいた。英語が好き又は得意とする者、英語に苦手意識があるが学習意欲のある者等、参加者の英語力はそれぞれ異なっていたが、プログラムを通して積極的に英語で話し、表現することで自然と英語にふれる機会を作ることができた。また、仲間や外国人講師とグループで活動をする中で、融和性や協調性を養い、集団生活における関係性を構築することもできた。

【課題】

外国人講師の参加者に対する関わり方やプログラムの内容において説明が不十分なところがあった。事前の打合せの回数を増やし、意見交換をすることで、外国人講師がプログラムの目的や内容を理解いただき、主体的に関われるような、より充実した運営を行っていきたい。